

小谷 明<sup>1</sup>, 桜井 弘<sup>2</sup>

<sup>1</sup>金沢大院薬, <sup>2</sup>京都薬大名誉

地球上における生命はその進化の過程で、多くの元素、特に金属の特性を選択しながら、高度な生命システムを築いてきたと考えられています。金属なくして生命は語れません。金属が関係する生命活動システムの理解はまだ途についたばかりですが、金属イオンとその複合体(錯体)の未知な特性の理解が少しずつ進み、金属酵素や金属タンパク質だけでなく、最近ではシグナル伝達や金属輸送などの動的システムの分子レベルでの解明が試みられるようになり、生命の起源から人々の健康と疾病の理解や新薬の開発などにつながる新しい研究の展開が見られるようになってきました。

本シンポジウムでは、「生命活動における元素が果たしている新しい役割の解明」をテーマに、生命・健康・疾病にどのような金属がどのような役割を果たしているか、創薬にどのように結びつくかについて、鉄、銅、亜鉛、カルシウムに焦点をあてて、生命エネルギーの源となる酸素運搬、薬効を支配する薬物/金属イオン運搬、患者数の増加にその対策が急がれている糖尿病、疾病の発見に期待がかかるイメージング診断薬に関する先端的研究を紹介します。

本学会を構成する多様な分野の研究者および将来を担う若手研究者がとともに集い討論し、参加者の皆様と将来を語る場を提供したいと考えています。